

# 令和元年度群馬県教育委員会の点検・評価委員会結果概要

## 1 期 日

第1回 令和元年6月17日（月）13:30～15:30

第2回 令和元年7月11日（木）15:00～17:00

## 2 場 所

県庁24階 教育委員会会議室

## 3 出席者数

群馬県教育委員会の点検・評価委員会委員5名、群馬県教育委員会事務局16名

## 4 審議事項

- (1) 令和元年度 教育委員会の点検・評価（平成30年度対象）の進め方
- (2) 令和元年度 教育委員会の点検・評価に係る各所属の自己評価に対する意見について

## 5 委員の主な意見

別紙『令和元年度点検・評価委員会（第1回、第2回）における主な意見と対応について』のとおり

## 6 結論

委員の意見に基づき、自己点検・評価案を修正し、教育委員協議会での協議、教育委員会会議での決定を経て、県議会へ提出・公表した。

## 令和元年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

基本施策1		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
特別支援学校高等部卒業生の一般就労後のフォローアップが充実しており、職場への定着を図ることができている。	評価できる点	第1回
「ぐんまのキャリア教育」に、児童生徒が社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる4つの能力(※)の育成について具体的に記載されており、実践的な内容となっている。	評価できる点	第1回
児童生徒に、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる4つの能力(※)が身につけているかどうかの検証について、検討すること。 ※「4つの能力」・・・「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」のこと。子どもたちが社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力として、文部科学省が例示している。	課題	第2回
インターンシップについては、全日制高校普通科の生徒のニーズ把握に努めながら、生徒が参加しやすいようプログラムの工夫を図ること。	課題	第2回
基本施策2		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
全国学力・学習状況調査の結果において、群馬県は理科の平均正答率や質問紙調査における理科に対する肯定的な回答の割合が高く、これまでの指導の成果が表れている。	評価できる点	第1回
「はばたく群馬の指導プランⅡ」が実践的な内容となっており、探究の課程を踏まえた対話的な授業づくりができるよう工夫されている。	評価できる点	第1回
ICTについては、リスクについても留意しながら指導し、情報活用能力の育成に努めること。	課題	第1回
新学習指導要領に基づき、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力をバランスよく伸ばすことができるよう努めること。	課題	第2回
子どもたちの学びに対する興味や関心が高まるよう、授業づくり等において工夫を図ること。	課題	第2回
基本施策3		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
いじめに対する教職員の意識、管理職の意識が変化してきており、子どもの気持ちを受け止め、保護者の気持ちに寄り添った対応をするようになってきている。	評価できる点	第1回
スクールカウンセラーによるいじめの解決事例もあり、全校配置による成果が表れている。	評価できる点	第1回
「地域社会等のボランティアに参加している小・中学生の割合」が増加しており、共に支え合う心の育成が図られている。	評価できる点	第1回
学校生活における様々な機会を捉えて子どもたちの自己肯定感を育み、子どもたちが自信を持って社会にはばたけるような基盤づくりに努めること。	課題	第1回
児童生徒だけでなく保護者にもスクールカウンセラーの存在を周知し、相談体制の充実を図ること。	課題	第1回
いじめの加害者に対する対応について方針が明確になっていないため、加害者の教育を受ける権利が守られない恐れがある。法の専門家等の有識者と連携しながら、対応を模索する必要がある。	課題	第1回
子どもの特性や家庭環境等を考慮し、気になる子どもについては学校が積極的に関わりながら、必要な支援を行うこと。	課題	第2回

基本施策4		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
心臓検診や腎臓検診の二次検診の受診率について、小中学生に比べて高校生の受診率が低い。後天性の疾患に罹患している場合もあるため、早期診断・治療のために引き続き受診を促すこと。	課題	第1回
高度肥満児の割合が依然として高いため、平成29年度に策定した「生活習慣病予防対策基本方針」等を活用しながら引き続き対応すること。	課題	第1回
「学校における食物アレルギー対応マニュアル」や「学校医・かかりつけ医向けの高度肥満児対策の手引き」、「学校における生活習慣病予防対策基本方針」を県医師会等と連携して策定し、全県で統一した方針の下に子どもの健やかな体の育成に取り組んでいること。	評価できる点	第2回
小児在宅医療の対象となる重症心身障害児の子どもも含めた共生社会の構築に向け、障害のある子どもとない子どもとの交流及び共同学習等を推進すること。	課題	第2回
基本施策5		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
この5年間で、発達障害に対する教員の理解が進んでおり、各校で適切に支援している。	評価できる点	第1回
発達障害とは診断されていないが配慮を要する、いわゆるグレーゾーンの子どもに対する指導についても理解が進むよう、研修等の機会を捉えて教員に周知すること。	評価できる点	第1回
配慮が必要な子どもについて、小・中・高それぞれの段階で切れ目なく支援ができるよう、必要な情報を共有するなど、しっかりと連携を図ること。	課題	第2回
基本施策6		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
外国人児童生徒及びその保護者に対する心理サポートを充実すること。	課題	第1回
県立学校の耐震化やブロック塀安全対策等、ハード面における学校の安全対策が計画的に進められている。	評価できる点	第2回
登下校時の見守り等、ソフト面の安全対策については、引き続き地域や保護者と連携しながら取り組み、子どもの安全を守る必要がある。	課題	第2回
基本施策7		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
学校支援センターが充実しており、地域との連携が進んでいる。	評価できる点	第1回
高校中退者等に対する支援について、教育委員会と知事部局が連携して取り組んでいること。	評価できる点	第1回
コミュニティ・スクールの設置等を進め、学校支援センターのノウハウを活用しながら一層地域との連携を図ること。	課題	第1回
高校中退者等に対する支援について、より一層制度を活用してもらえよう、周知や内容の充実に努めること。	課題	第1回
教育委員会の取組		
点検・評価委員 意見要旨	対応(報告書掲載方法)	第1回or 第2回
教育委員会の活動内容を県民に理解してもらえよう、また、教育委員会を身近に感じてもらえるよう広報の方法等を工夫すること。	評価できる点	第1回
5年間の取組において、高校の通級指導教室の実施や、知事部局と連携した高校中退者等支援といった様々な教育施策を実現したこと。	課題	第2回